

長崎南山小学校学校生活だより 令和元年9月号 担当(山田) NO.82

## 親孝行の日 9月28日

イエス様の誕生よりも約1600年前までの古代 イスラエルの民族はエジプトの地で奴隷として 暮らしていました。このイスラエルの民を指導 しエジプトから脱出させたのが、神様から選ば れた預言者モーセという人でした。エジプトを 脱出し、約束の地カナンに向かう途中シナイ山 にさしかかった時、神様はモーセに十戒を啓示 されました。

神様に対する戒めと人間関係に関する戒めの 十戒ですが、現在でも教会で使用している祈祷 書の中に「天主の十戒」として示されており、 ミサが始まる前の祈りの中で唱えている教会も 多くあります。この「天主の十戒」の第四には 次のように書かれてあります。

#### 第四 なんじ 父母を敬うべし。

親孝行を勧めているわけです。親孝行という言葉は,昔に比べてあまり使われなくなった言葉の一つだといえるようです。実際,子どもたちに聞いても,その意味を「知らない」と答える子も多くいます。

年間の学校行事を立てる時に、南山小学校の取り組みの一つとして「親孝行の日」をぜひ設けたいと考えました。「こどもの日」「母の日」「父の日」があるように、一年間に一度くらいは親孝行についてふり返る機会を設け、子どもたちにも具体的に実践してもらいたいと考えたわけです。

「親孝行の日」は、9月28日としました。事あるごとにファミリーという言葉をよく使われ、また、「聖母に祈ろう家庭の平和」を聖母行列のテーマにされておられたウイゼン神父様の誕生

日が9月28日だったからです。また、今年4月に亡くなられた川上進神父様の誕生日も偶然にもウイゼン神父様と同じ9月28日でした。川上進神父様は、ご自分のモットーとして隣人愛を特に大切にされておられました。

長崎南山第二学園の創立者と2代目学園長の思いを大事にしていくため、そして何よりも親子の絆を益々深いものにしていくために、南山小学校の「親孝行の日」を9月28日として、毎年学校行事の一つにしていきたいと考えています。

「親孝行の日」に孝行の形をどのように表す かは各クラスで話し合って決め準備を進めるよ うに呼びかけています。

- ・似顔絵を描いてプレゼントする。
- ・日頃の感謝を込めて手紙を書く。
- ・心のこもったプレゼントを贈る。
- ・お手伝い券を作って用意する。

など,子どもたちの表す孝行を楽しみにお待ち ください。

# アサガオが朝咲くわけ!

1年生の教室の前に育てられているアサガオの つるが3年生の教室の窓の高さまで伸びてきてい ます。理科の授業中,窓に見えるアサガオのつ ぼみを見ながら3年生に次のような質問をしてみ ました。

- 問.朝になるとアサガオの花が咲くのはなぜ でしょうか?
- ① 周りが明るくなってきたから。
- ②暗い夜の間に十分に休んだから。
- ③虫や鳥たちが動き出して周りが騒がしくなってきたから。

数人を除いた全員が①番と答えました。

答えは、①番ではなく②番です。アサガオのつぼみは、実は、明るさではなく暗さを感知します。夕暮れ時になって暗さを感知すると、それから約10時間後に花が開くしくみになっているのです。つまり、アサガオのつぼみには時間をカウントする機能が備えられているわけです。ですから、次のようなことも起こり得ます。

- ・明日咲くと思われるつぼ みに真昼の正午頃ダンボ ール箱をかぶせたりして 暗くしてやると, つぼみ は夜がきたと感じて, そ こから時間をカウントし 10時間後の午後10時 ごろ咲く。
- ・反対につぼみに電灯などで光を与え続けると,つ ぼみは暗さを感じることができないので,朝がき ても花びらは開かない。
- ・また,真夜中の0時ごろから電灯で光を与え続けても,暗い時間が10時間に足りないので,朝になってもやっぱりアサガオの花は咲かない。

アサガオがきれいな花を咲かせるためには, 朝になることが大切なことではなく, 夜の暗さを感じること, しかも十分(10時間)に感じることが大切なのです。

アサガオのつぼみが夜十分に休まないときれいな花を咲かせ立派な実を結ぶことができないのと同じように、子どもたちも朝さわやかに目を覚ますためには夜の間に十分に休むことが必要です。規則正しい生活をし、十分に睡眠時間をとることで生活面でも学習面でも立派に実を結ぶことができます。

2学期の「南山生活リズムカード」の取り組みは 終わりましたが、引き続き規則正しい生活リズムに 心がけて欲しいと思います。

## 命命教室紹介命命

### 4年1組 担任 野川 知彦 先生

4年1組は、「ピカイチ。」の目標に向かって学校行事やクラスの取り組みに毎日がんばっています。「ピカイチ」には何をするにも一人ひとりがどこかでピカッと輝いてもらいたいという願い、最後の「。」にはクラス全体でも大きな○がもらえるようになって欲しいという願いが込められています。

友達思いで、いつも全体のことを考えて行動できる4年1組は、みんな遊びが大好き。男女を問わずとても仲良しのクラスです。

国語の学習から発展した俳句作りにも熱心に取り組んでいます。1学期は「春」と「夏」をテーマにした俳句を作って投票でNO1を決める句会も開きました。2学期の「秋」をテーマにした句会もみんな楽しみにしています。お互いの俳句のよさを見つける中で、ますますやさしい心も育ってきています。

行事の多い2学期に、これまで以上に仲良く協力して取り組み、達成感も十便に味わってもらいたいというのが野川先牛の願いです。



### ♪神さまといつもいっしょ

神さまと いつもいっしょ わたしたち みんな 朝がきて 夜があける たいようのプレゼント ありがとう 神さま ありがとう たくさんの おめぐみを ありがとう 神さま ありがとう わたしたちのため